

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成27年7月2日(2015.7.2)

【公開番号】特開2012-251240(P2012-251240A)

【公開日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-054

【出願番号】特願2012-108089(P2012-108089)

【国際特許分類】

C 23 C 18/08 (2006.01)

【F I】

C 23 C 18/08

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月11日(2015.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

パラジウム塩およびオルガノアミンを含む出発成分を含む、非触媒パラジウム前駆体組成物であって、前記非触媒パラジウム前駆体組成物が還元剤を含まず、前記非触媒パラジウム前駆体組成物が前記還元剤を含む別の組成物と接触せず、

前記オルガノアミンがオクチルアミン、ドデシルアミン、ヘキサデシルアミン、及びトリブチルアミンからなる群より選択される水不混和性のモノアミンであり、

前記パラジウム塩及び前記オルガノアミンに含まれる炭素原子の総数が12以上であり、

前記パラジウム塩及び前記オルガノアミンの少なくとも一部が、非晶質であるパラジウムオルガノアミン錯体を形成している、前記非触媒パラジウム前駆体組成物。

【請求項2】

基板上に伝導性パラジウム層を形成するためのプロセスであって、

パラジウム塩およびオルガノアミンを含む出発成分を含む、還元剤を含まないパラジウム前駆体組成物を受容する工程と、

前記パラジウム前駆体組成物を前記基板上に溶液堆積させる工程と、

前記パラジウム前駆体組成物を加熱して、伝導性パラジウム層を形成する工程と、を含み、

前記オルガノアミンがオクチルアミンであり、

前記パラジウム塩及び前記オルガノアミンに含まれる炭素原子の総数が12以上であり、

前記パラジウム塩及び前記オルガノアミンの少なくとも一部が、非晶質であるパラジウムオルガノアミン錯体を形成している、前記プロセス。

【請求項3】

水を含まない、請求項1に記載の非触媒パラジウム前駆体組成物。

【請求項4】

パラジウム塩およびオルガノアミンを含む出発成分を含む、非触媒パラジウム前駆体組成物であって、

前記オルガノアミンが溶媒として機能し、

前記パラジウム塩が酢酸パラジウムであり、

前記オルガノアミンがオクチルアミンであり、
前記パラジウム塩及び前記オルガノアミンの少なくとも一部が、非晶質であるパラジウムオルガノアミン錯体を形成している、前記非触媒パラジウム前駆体組成物。